

AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1991年6月1日発行 第2号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

1991年度総会開かれる ——2年目の飛躍へスタート——

1991年4月20日(土)、神奈川県国際交流協会A研修室において多くの会員の参加を得て91年度の総会が開催されました。

〔議事〕第1号議案「1990年度事業報告及び収支決算の承認について」、第2号議案「1991年度事業計画及び予算(案)」、第3号議案「役員の補充(案)」、第4号議案「横浜スペイン交流協会規約の一部改正(案)」について審議し、出席者全員の賛成を得て可決され、当協会は設立2年目の飛

躍へ向け、スタートを切りました。

つづいて、新任の役員及び顧問の紹介があり、日本マドリッド会近藤会長(当協会顧問)が、来賓として祝辞を述べられました。

〔記念講演〕元清泉女子大学スペイン文学科主任教授の佐久間正氏が「コロンブスの新大陸発見について」豊富な資料と検証及び実地調査を踏まえ、エピソードを交えながら講演され、聴講者に深い感銘を与えました。

協会の実務組織及び事務分掌

—— 委員会が共同運用 ——

〔調整会議〕

- * 協会の事業(行事)の企画・運営等及び財務に関する総合調整に関する事。

〔財務委員会〕

- * 協会の財務体質の強化等に関する方策の検討及び実施に関する事。

〔総務委員会〕

- * 協会の運営及び事務局に関する事。
- * 会員の親睦を図るための事業(行事)に関する事。
- * 桜の植樹事業に関する事。
- * 会長の特命事項に関する事。

〔広報委員会〕

- * 広報活動及び会報の発行に関する事。
- * 翻訳、通訳、文書作成(タイプその他)等

に関する事。

〔企画委員会〕

- * スペインとの文化交流に関する各種の事業(行事)の企画・運営等に関する事。
- * スペイン友好親善訪問旅行の企画・運営等に関する事。

〔事務局〕

- * 庶務、経理及び連絡調整に関する事。

【委員会運用の基本方針】

委員会内部における委員の役割分担、委員会の開催、事務局との連絡調整等の経常的な運用については、各委員会の正副委員長を中心に行う。なお、必要に応じ、主要かつ大規模な事業(行事)等については、各委員会が共同して運用に当たる。

☆「横浜スペイン交流協会」の略称が「AIYES(アイジェス)」に決まりました。

桜の植樹事業は今……

〔構想〕スペインに日本の桜を植樹し、これを日本とスペイン両国の友好親善のシンボルとして、両国間の絆を太く強くし、市民相互の文化交流の末長い発展を期す。スペインの祭りに「桜祭り」を加えよう！ スペインで「お花見」を！ 会員の夢は大きく膨らむ。

〔経過〕1984年4月「横浜市港南区ひまわり親善国際交流協会」（下山会長は港南区長として深いかわりをもつ）はセビージャ市トリアナ区との文化交流を進めるため、代表団がセビージャ市長及び区長を表敬訪問。

その後、春田画伯共々「セビージャ市とロンダ市に日本の桜を植樹しよう」との構想を描いたが、スペインにおける検疫等の受け入れ態勢が難しい等のため、日の目を見ず。

＊ 1989年12月 春田画伯が来日した際、ロンダ市長からの「日本の桜の植樹要請書」を持参されこれを契機に「桜の植樹事業」構想が再び浮上。

＊ 1990年3月 同事業構想について、下山会長が「日西友好議員連盟」（国会議員で構成）の会長と情報交換。

＊ 同年6月 「ライオンズクラブ国際協会330複合地区ガバナー協議会」から「ロンダ市への桜植樹基金」100万円が日本マドリッド会に贈呈された。下山会長及び春田画伯が立ち会い、事業の実施まで保管中。

＊ 同年8月 「桜植樹事業」について、下山会長が駐日スペイン大使館商務部と情報交換。

＊ 1991年1月 「スペインにおける植物の検疫及び通関に関する法令」を駐日スペイン大使館から入手し、翻訳及び研究中。



織本瑞子氏から下山会長あて「ロンダからの桜だより」

＊ 同年2月 セビージャ万国博覧会の局長から駐日スペイン大使に届けられた「日本の桜の苗木の送付要請書」の取り扱いについて、駐日スペイン大使の要請に基づき、日本マドリッド会の近藤会長と下山会長が協議し、積極的に取り組むことを確認。

＊ 同年3月 スペインにおける受け入れ態勢の整備等「桜の植樹事業」の促進について、下山会長及び植田副会長が駐日スペイン大使と懇談。

〔現状〕現在、スペインにおける検疫・通関の法的問題点等を研究中。併せて、学者その他「桜の植樹」に関する専門家の意見を聞くなど、情報収集を行っている。

今後、これらの諸情報を踏まえて、両国の関係行政機関等に働きかけを行うなど、早期実現を目指し、実現の見通しが立ちしだい「桜の植樹」キャンペーン及び「植樹基金」の募集を開始することになっている。

新任の役員及び顧問の紹介

理事 岡 京子 日本舞踏家
理事 小島素子 翻訳家
理事 田中研一 ㈱内田洋行環境デザイン研究所
理事 高橋巖夫 日本フィギュアスキー協会会長
理事 堤依久男 元シェル石油㈱会長付

理事 中村瑛子 国際電信電話㈱
理事 藤井眞水 高野山真言宗大僧正増徳院住職
監事 芦垣登志雄 ㈱産業貿易センター常務取締役
顧問 林屋永吉 元駐スペイン日本大使

□会員紹介□

はじめまして、皆さん今日は！

お待たせいたしました。会報第1号につづいて、会員紹介Part2です。今回はベ
ージの都合で数人の方しかご紹介できませんが、次回をおたのしみに！

- 大学でスペイン語を専攻し、3年のときには、
スペイン旅行をしたが、卒業後はスペインと関係
のない仕事をしている。今後は協会の活動を通じ
てスペインとの関係を維持したい。(小田・麻)
- 戦後間もなく、ラジオでスペイン語の勉強を始
めた。スペインへは2、3回旅行をしている。ス
ペイン各地で、市民戦争の傷跡に触れ、スペイン
の国民が欧米の犠牲となって戦わされた悲劇に共
感した。サグラダ・ファミリアの建設が、100年
も前から続いており、しかも、いつ完成するかわ
からない理由の1つは、同教会が特定の宗派に所
属しており、国からの補助が受けられないため
であることを知った。(小田・泰)
- スペイン語を習い始めたのは、30年前、ラジオ
講座を通じてだった。以来、ラジオ講座は引き続
いて聞いており、講習会にも出席した。スペイン

からの短波放送も楽しんでいる。スペイン各地を
2度旅行し、スペイン語で現地の人びとと楽しく
語り合った。(玉上)

- 13年間の海外生活のうち、スペインでの合併企
業設立がとくに印象深い。北のスペイン人の堅実
な考え方、イスラム文明の正統の後継者を自負す
るスペイン、その中南米との結びつきなどに魅力
を感じている。これからは、スペインとの草の根
交流運動に力を注ぎたい。(中田)

- 1980年から4年間、ヒマワリの種の輸入・栽培
を通じて、アンダルシアと港南区との友好促進の
お手伝いをしてきた。1992年EC市場統合におけ
るスペインの役割、中南米やアラブとの結びつき
などからみて、同国との交流は、今後いっそう重
要となるだろう。引き続き協会の活動を通じて交
流に務めたい。(齋藤)

委員会等構成員 (順不同・敬称略)

〔調整会議〕

下山貞明(会 長) 植田伊津(副会長)
田中研一(総 務) 岡 京子(総 務)
中村瑛子(総 務) 野地睦子(総 務)
阪本 博(総 務) 堤依久男(広 報)
小島素子(広 報) 児玉喬夫(広 報)
高柳治子(広 報) 栗山由美子(広 報)
飯塚 勲(企 画) 高橋巖夫(企 画)
寺原瑛子(企 画) 三村 司(企 画)
井上利雄(事務局) 芦垣登志雄(事務局)
田中留美子(事務局) 杉本 康(事務局)
齋藤由基彦(事務局)

〔注〕()内は役職又は所属委員会等。

〔財務委員会〕

下山貞明 植田伊津 五神嘉子 竹田富美
中田真弘 飯塚 勲 井上利雄 田中研一
堤依久男 小島素子 岡 京子 中村瑛子
高橋巖夫

〔総務委員会〕

◎田中研一 井上利雄 玉上テル子 田中留美子
○阪本 博 堤依久男○中村瑛子○野地睦子
石元道子○岡 京子 貝川美由紀

〔広報委員会〕

◎堤依久男○小島素子○児玉喬夫 桜川洋子
○栗山由美子○高柳治子 八重樫義雄 松本益代
飯塚 勲 鈴木生雄 滝沼真理子

〔企画委員会〕

◎飯塚 勲 田中研一○高橋巖夫○寺原瑛子
小田麻理子 武岡寿子 広島弘美 浜本みづえ
大塘善保○三村 司 杉本 康

〔事務局(連絡調整担当)〕

井上利雄 芦垣登志雄 田中留美子
杉本 康 齋藤由基彦

〔注〕◎……委員長 ○……副委員長

1991年度の主な事業と行事

当協会は設立2年目を迎え、本号で紹介の通り理事会・各委員会などの組織も充実し、いよいよ本格的な活動に入ろうとしています。とはいえ、一気にいろいろなことを行おうとすると、無理が生じます。そこで、企画委員会では当面、無理をせずできることから少しずつやっていこうと思います。よろしく会員皆様のご協力をお願いいたします。

去る3月30日、駐日スペイン大使オヤルサバル氏ご一家が、横浜へお花見においでになり、当協会の役員と一部の委員が大使夫妻と懇談する機会がありました。その際、たまたま、1954年に日本で亡くなられ、横浜外人墓地に埋葬された、当時の駐日スペイン大使デル・カスティージョ氏の話ができました。同大使は、戦前にも日本に勤務されており、日本人の知己も多く、「日本を第二の故郷」とされていた方です。

スペイン大使館と当協会の共催で、6月18日のご命日に、墓参を行い、同大使を偲ぶ行事が計画されています。

このほか、総会で決まった1991年度の事業としては、スペインへの桜の植樹事業の推進、国際交流パーティ（12月14日横浜高島屋6階バラの間を予定）、1992年サンタ・マリア号の横浜への寄港誘致、会員親睦のリクリエーション、1993年を第1回とするスペインへの友好親善ミッションの派遣計画などがあります。

さらに、上記の協会全体の事業計画のほかに、会員の自主企画による多くのグループ活動が企画されています。そのいくつかをご紹介します。参加ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

また、このほかにも、こんなグループを作りたい、自分が中心になってやってみたいというご希望がありましたら、いつでも事務局にご連絡下さい。企画委員会で積極的に取り上げていきます。

●日西歴史研究グループ●

元清泉女子大学教授佐久間正先生や、当協会顧問の林屋永吉氏をお招きして、日本とスペインの関係について、歴史的に学ぼうと思います。

これらの、企画や、講師との折衝、会場の設定などを含め、ご協力いただける方、またご自身でも学習なさりたい方を求めます。（飯塚 勲）

●翻訳・通訳グループ●

スペインについてのすべての分野・時代の最上級の情報が常にストックされ、公式の翻訳・通訳に耐えられる人材がズラリと揃い、もちろん独自の情報や翻訳出版部門をもつ、etc...めざすのはスペインの人びととの、心と心の交流。

まず、スペインの雑誌購読、横浜マップづくりなどからいかがでしょうか。（小島素子）

●スペイン料理を楽しむグループ●

本格的なスペイン料理の食べ歩きをしませんか。

また作ってみたい方々と、横浜在住のスペイン人をお招きして、スペイン料理教室を開くことを考えています。多数のご参加をお待ちします。（高柳治子）

●スペイン音楽グループ●

スペイン音楽は他に類を見ない多様性とユニークさに満ちた、美的で不思議な音楽です。

これから一緒にスペイン音楽関係の催しの企画などをやっていただける方を求めています。（広島弘美）

協会シンボル・マークデザイン募集！

企画委員会では、会員の皆様から、当協会のシンボル・マークを募集しています。このマークは今後、当協会がいろいろな活動をしていく際に使用していくものです。

スマートで、ミナトヨコハマにふさわしいセンスあるマークをぜひ、あなたの手でお作り下さい。

締切り：1991年11月30日。送り先：協会事務局

編集後記

●4月20日、本年度の総会が開催された。理事会・委員会などの組織が充実し、協会の形式が整った。

「内容なき形式は空虚であり、形式なき内容は盲目である」とカントはいう。協会の発展のために、今後は内容の充実が必要であろう。

●優れた事業・行事の企画と、会員の主体的な参加によって、本年度の協会の躍進を図りたい。そのために、広報活動が一翼を担えればと思う。（堀）